

http://asmama.jp <報道関係各位>

> 2010年5月29日 株式会社 AsMama

## ★ 取材のお願い ★

AsMama、親と学校と地域が一体となった子育てを目指して

父の日イベント、『産まれてきてくれてありがとう、産んでくれてありがとう、パパママ、ありがとう』

一 対象年齢: 幼児~小学生、事前申込会員無料(※)、横浜保育福祉専門学校 6月19日(土)、10時30分 -

株式会社 AsMama (代表取締役 甲田恵子 )では、来る 6 月 19 日 (土)の午前 10 時 30 分から、親子で産前体験や産後の子育てを振り返りながら、親から子へ、子から親へ、『産まれてきてくれてありがとう』『産んでありがとう』の思いを伝える父の日ファミリーイベントを、横浜保育福祉専門学校にて開催します。イベントでは、世界で一つの父の日プレゼント制作や、3 月 9 日にオープンした AsMama を活用した育児と仕事の両立のコツ、岩崎学園東戸塚保育園園長、西山先生による学校と家庭の役割を親子で学び、考える座談会を予定しており、地域一体型 子育て支援・親支援イベントを開催します。つきましては、ご多忙の折とは存じますが、是非ご取材にお越しいただきたく、お願い申し上げます。

★『産まれてきてくれてありがとう、産んでくれてありがとう、パパママ、ありがとう』in 横浜★

● 日時 : 6月19日(土) 10時30分~12時30分 (開場10時)

● 会場 : 横浜保育福祉専門学校 (<a href="http://hoiku.iwasaki.ac.jp/nursery/access.html">http://hoiku.iwasaki.ac.jp/nursery/access.html</a>)

神奈川県横浜市戸塚区品濃町550-8番地 (JR横須賀線 東戸塚駅から徒歩5分)

- 内容
  - (1) 体験!講習!ワーク! (詳細は別紙1を参照)
    - 第1部) 子どもたちによる自己紹介&ママパパ紹介 ~子どもの人前発表力を育てよう~
    - 第2部) <u>「わたしたち、ぼくたちどうやって生まれてきたの?」</u>

- 第3部) ママパパから子どもたちへの「産まれてきてくれて、ありがとう」を伝える
- 第4部) ①子どもからママパパへ「産んでくれて、ありがとう」のプレゼント制作 (「アリガトウ」の気持ちを絵や手紙に書き、後日カバンかタオルに印刷して 各家庭に『世界でたった一つの父の日のプレゼント』として郵送します)

②育児と仕事の両立のためのAsMama活用法

第5部) 西山園長による『家庭の役割、園の役割』のお話しと参加者座談会

- (2) (当日出席の) 子育て支援・親支援者のPRタイム
- 参加方法・人数:先着 100 名 (申込締切:6月 15日)

AsMama コミュニティ (http://asmama.jp からログイン、要会員登録)、

FAX (別紙)、メール info@asmama.jp

※メールの場合はタイトルを【6/19 父の日イベント(横浜)参加希望】と記載し、参加者全員の氏名・年齢・性別と連絡先をご記載下さい。

- 当日持ち物:クレヨン、産前産後の頃の写真・子どもの成長記録(任意)
- 料金: 事前申込会員無料(AsMama 会員登録無料)、※AsMama 非会員 1,000 円(一家族)
  ☆ プレゼント制作(カバンまたはタオル)材料費 2,100 円別途要(送料、プリント代全て込み)
  巾着袋またはハンドタオルの追加は一点 1,575 円(税込)で OK!

◆◆◆ 本リリースに関するお問い合わせ ◆◆◆

TEL&FAX: 0.45-2.63-6.433  $\forall -\nu$ : pr@asmama. jp

株式会社AsMama (http://asmama.jp/)

横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター6F-A

1



http://asmama.jp

佐田 大し た

## ■□■ 取材申込 FAX 返信用紙 ■□■

※ 会場準備の都合上、前日までにご連絡いただけますと助かります ※

FAX: 株式会社 AsMama 広報宛 0 4 5 (2 6 3) 6 4 3 3

父の日イベント、『産まれてきてくれてありがとう、産んでくれてありがとう、 パパママ、ありがとう』 in 横浜

6月19日(土) 10:30~ 横浜保育福祉専門学校

<u> </u>			
媒体名:			
ご芳名:		(	名)_
連絡先: TEL	FAX		
その他ご要望、ご連絡事項			

AsMama は、安心安全で、かつ継続的な相互支援関係が育めるよう、SNS機能やマッチング機能を有するインターネット上のサイト(オンライン・コミュニティ)と、親も子も他の会員と実際に出会い、共に考え、学び、親睦を深める交流会やイベントなど(オフライン・コミュニティ活動)を融合させて運営します。

イベントでは、親も子どもも他と交じり合って楽しみながら、学びや、貴重な体験が出来る催しを 企画しております一方、ご参加・ご協賛いただく子育て支援・親支援事業者さまとの自然な出会い、 交流の機会をご提供いたします。こうした機会をつうじて、子育て世代をターゲットにした草の根レ ベルでのファン作り、営業促進、企業のイメージアップにもつながります。

今後は、横浜を拠点に、全国各地の子育て支援・親支援に関わる事業者さまとのコラボレーションイベントやセミナー、会員間交流の促進等を企画しており、関東、関西、中部、九州へと、活動ベースを広げていく予定です。地域や社会が一体となった子育て支援・親支援の活動の一つとして、企業訪問や工場見学、さまざまな商品に関する座談会なども企画しております。